

実践テーマ「指導の目的を踏まえたALTや1人1台端末の活用」

※「指導と評価の一体化」のためのパフォーマンステストの改善充実、児童生徒の興味関心を高め、指導の目的を踏まえたALTや1人1台端末の活用、学習到達目標を児童生徒や保護者と共有する「CAN-DOリスト」の活用

第1学年 〔单元名〕 Stage Activity1 ~All about me~

P

〔単元の目標〕 ※単元の目標や児童（生徒）と共有を図った「CAN-DOリスト」の関連する内容を記入

- ・自分の好きなことについて、つながりのある文を書くことができる。
- ・自分のことを伝えあう中で、メモをとったり、読み取ったことをもとに質問したりやりとりすることができる。

D

〔単元の目標の達成に向けた手立て〕 ※実践テーマに基づき、単元や内容のまとまりを通じた手立てを記入

	手立て	資料
①	Reading testやQandA練習→ALTとタブレット端末を使った「話すテスト」実施→定着度の確認→指導	1
②	「聴く」+「話す」を統合した言語活動（ALTの話聴いて、メモをとり、質問をするなど）	2
③	Stage Activity1の題材を生かした、ALTとの話すテスト	3

C

〔単元の目標の達成状況〕 ※「パフォーマンステスト」等の結果を記入

- ・最終的な対面のALTとの対話テストでは...
 - ①自分のことを書いたり、話すこと自体には自信を持てたという肯定的な回答が73%の生徒が感じている。
 - ②即興で相手の情報を聴いたり、読んだりしての質問することに課題を生徒が感じている。

A

〔改善の方向性〕 ※指導方法の改善内容を記入

- ・本単元のみでなく、Unit6での自分と相手以外の人物について話したり、尋ねる単元でも4技能の統合をした活動を現在行っている。
- ・マッピングなどにより、考えを連想させる力、またそれを手立てにしてアウトプットする力を粘り強く指導していきたい。継続した取り組みがどう成果につながるか、再度見取りたい。

単元の目標の達成に向けた手立ての具体

①最終的にALTとやりとりをするために、定着を確認するための活動を行う。

〔児童（生徒）の活動〕

○ALTの質問が動画に入っているものに回答を録音して、提出する。
○対面での実施回数は限られるので、タブレット端末を活用して実施。

○自分のことを伝える時に、メモをとりながら聴く活動をする。
○メモをしたことをもとに、聞き取った情報を英語で確認する。

〔教師の指導〕

○テスト動画や振り返りを見て、指導が必要な点や、今後の方向性を明確にする。
○QanAが単に帯活動として位置づけるのではなく、単元の終わりはまとめの単元での言語活動につながることを意識づける。

○話すこと【発表】は一方向的やりとりになりやすい。メモをとる相手がいることにより、話し手も話し方を注意する。
○主語にYouになることにより、yourなど情報を確認する時には相手が主語になること。

〔工夫点〕

○作成動画は、ALTと動画を共有して 同時編集して、準備の負担を軽減
○Google classroomの課題のルーブリックの作成と、ALTとの事前共有
○20分程度で完結するボリューム

○自分のことについてもマッピングを行い、文章を書く。その活動との重なりを持たせてスムーズに活動に入れるようにしていく。
○

※2枚目は、1枚目の「単元の目標の達成に向けた手立て」について、全道の先生方の取組の参考となるよう、「児童（生徒）の活動の様子」、「教師の指導」「工夫点」を具体的に記載してください。

※写真や動画、作成した資料等を掲載することも可能です。その際、教科書、著作権フリーではないイラスト等の著作物を掲載することのないよう、留意願います。

※児童（生徒）の写真に掲載する場合は、本人が特定されないよう配慮願います。

資料 1-① Reading test

A graphic with a blue background and horizontal lines. At the top left are orange and yellow gears. At the top right is a hammer. At the bottom are five diverse children wearing yellow hard hats and white shirts. At the bottom right is a blue gear. The text "2023 1st Grade Reading test ②" is written in a large, blue, sans-serif font in the center.

2023 1st Grade Reading test ②

1. ALTにGoogle classroomにループリンクを示しておく。
2. 生徒にも事前にデジタル教科書のスピードで読めることを1つの基準に指導する。
3. 生徒はこの動画にそって録音して、動画をClassroomへ提出。
4. ALTを中心に評価。
 - ・課題となる発音
 - ・イントネーションなどの共有→指導へ生かす。

資料1-②

Speaking test

1. QandAとして常活動で話す活動などを行う。

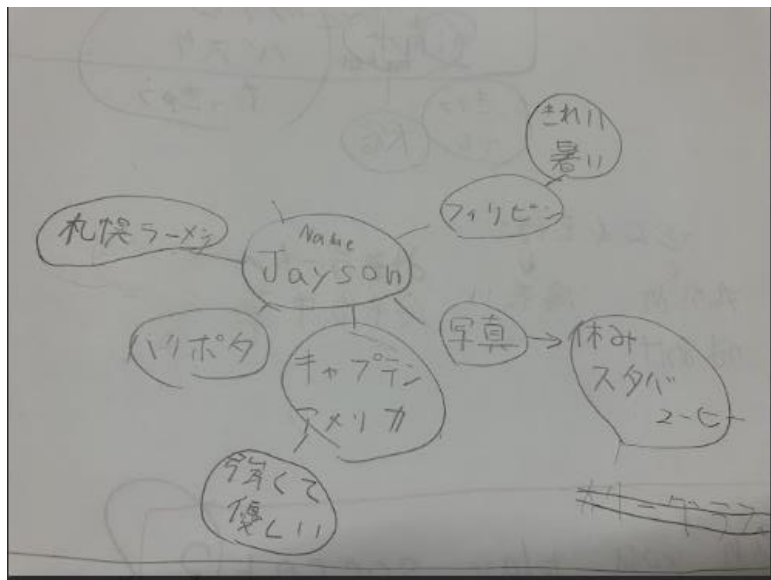
→QandAがゴールではなく、Stage Activity1など技能統合した言語活動で使うことを最終的な目標とさせる。

2. A L Tに練習した質問と似たものを作成してもらう。(Canvaに挿入し、1本の動画に)

3. 生徒はReading test同様、録画形式で行いA L Tの

動画の後に各10秒以内に答える。

資料2 聴く→マッピング



1. ALTの話を聴き、メモをとる。
→話し方にも工夫が必要…指導
【聴く】
2. 一度どんな質問ができるか自分達で考える。 【書く】
→必要な言語材料を見つめ直させる。…指導
3. 自分達のことを発信するためにマッピングをする 【書く】
→書く活動へ

資料 3

~ ALL ABOUT ME! ~

Class: (3)

Number: (19)



提出用

Name: [redacted]

Age: twelve

Birthday: October
fourteenth

Club:

○ My favorite

- 1: color → red and orange
- 2: subject → English
- 3: fruit → watermelon
- 4: character → minion

I'm [redacted]. I like Minions. My favorite colors are red and orange. My favorite subject is English. I'm good at speaking English. What character do you like? Please tell me.

資料3

話すテストの様子から